

## 令和2年度災害復旧支援エンジニア活動報告（小国町）

- 令和2年8月15日～16日の集中豪雨により西置賜地方では多くの場所で被災しました。9月1日、小国町より建設技術センターに災害対応について技術支援の要請があり、センターは、平成25年度に県と協定した「技術職員OBによる災害支援に関する協定」に基づき、2名の災害復旧支援エンジニアを迅速に派遣し、災害支援を実施しました。

### 【小国町】

- 派遣要請 ・ 9月1日（火）に小国町より災害復旧に関する技術支援の要請
- 派遣の実施 ・ 9月8日（火）に災害復旧支援エンジニアを派遣し支援活動
- ◆活動状況①（災害復旧支援エンジニアへの派遣依頼）
  - 9月1日 ・ 「災害復旧支援エンジニア登録者名簿」より地域性の考慮、当日の活動可能なエンジニアとして、古山毅彦氏、井上和則氏へ派遣を依頼
- ◆活動状況②（役場で被災状況についての聞き取り確認及び助言）
  - 8日 ・ 小国町会議室にて、被災状況を町職員より説明を受け査定時の考え方、復旧方法の進め方等を助言
- ◆活動状況③（被災現地での助言・指導）
  - 8日 ・ 現地にて、被災状況を視察し被災状況の考え方・復旧方法の進め方等を助言・指導、査定に関して注意しなければならない点などの技術的な指導と申請時の考え方等を助言

☆ 1級町道小坂町朝籾線 大沢橋橋梁災害

- ・ 被災原因のメカニズムについての整理と復旧工法の留意点を助言
- ・ 町と県の護岸復旧の施工範囲を助言
- ・ 応急本工事として橋梁の撤去を助言

〔災害復旧支援エンジニア制度；災害が発生した場合、県・市町村からの要請を受けて専門技術者が発注者の立場で助言・指導を行う〕

